

平成16年度健康危機管理保健所長等研修会実施要綱

1 目的

全国の保健所長等が、地域における健康危機管理について理解を深めるとともに、平時及び健康危機発生時における実際の対応について演習等を通じて能力向上を図ることを目的とする。

2 主催 厚生労働省

3 受講者

都道府県、政令市及び特別区の保健所に勤務する保健所長及び保健所管理職員を対象とし、年4回の研修を行う。各回とも各都道府県、政令市及び特別区からの推薦により、100名程度を選定して、受講者を決定する。

4 研修期間

- 第1回 8月23日(月)～8月25日(水)の3日間(保健所管理職員対象)
- 第2回 9月15日(水)～9月17日(金)の3日間(保健所長対象)
- 第3回 11月9日(火)～11月11日(木)の3日間(保健所管理職員対象)
- 第4回 2月23日(水)～2月25日(金)の3日間(保健所管理職員対象)

5 研修内容

健康危機管理に関する講義及び図上演習。
なお、詳細は受講生決定通知とともに通知する。

6 研修会場 国立保健医療科学院

埼玉県和光市南2丁目3番6号 電話 048(458)6111

7 申し込みについて

受講申込書に記入の上、提出期限までに、厚生労働省健康局総務課地域保健室に必着するよう送付すること。なお、受講申込書については、別途送付する。

8 問い合わせ先

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省健康局総務課地域保健室 担当：石関・野崎
電話 03(5253)1111 (内線2336/2395)
FAX 03(3503)8563
メール nozaki-naohiko@mhlw.go.jp

(参考)

平成15年度健康危機管理保健所長研修会プログラム

9月29日(月)

9:00		受付開始	
9:30	9:40	挨拶・オリエンテーション	藤崎大臣官房参事官
9:40	10:50	新興再興感染症 (バイオテロ含む)	賀来満夫(東北大学大学院教授)
10:50	12:00	SARSの最新の知見と対策	岡部信彦(国立感染症研究所 感染症情報センター長)
13:00	14:30	阪神淡路大震災(自然災害)	坪井修平(吉備国際大学保健学部教授)
14:40	15:40	医療監視	西塚至(東京都健康局医療政策部)
15:50	17:50	健康危機管理図上演習1 (感染症)	岩崎恵美子(仙台検疫所長) 警察庁 消防庁

9月30日(火)

9:00	10:00	地域における健康危機管理と国の対応	厚生労働省厚生科学課
10:10	11:40	化学災害(化学テロ含む)	郡山一明(救命救急九州研修所教授)
13:00	15:00	健康危機管理図上演習2 (化学災害)	大橋教良(中毒情報センター理事) 郡山一明(救命救急九州研修所教授) 警察庁 消防庁
15:10	16:40	健康危機管理支援情報システムについて	土井 徹(国立保健医療科学院研究情報センター長)
16:40	17:10	災害医療センターの概要	邊見 弘 (国立病院東京災害医療センター院長)
17:10	18:10	災害医療センターの見学	

10月1日(水)

9:00	10:30	心のケア(PTSD)	金吉晴(国立精神・神経センター部長)
10:40	12:10	原子力災害	衣笠達也(原子力安全研究協会放射線災害医療研究所副所長)
13:10	15:10	健康危機管理図上演習3 (原子力災害)	衣笠達也(原子力安全研究協会) 郡山一明(救命救急九州研修所教授) 警察庁 消防庁
15:10	15:40	受講証書授与	横尾地域保健室長